



明石のコミュニティ・スクール

未来にむけて 学びをかえる

未来を創り 社会を支える 新たな学びと育ちのシステムづくり

KomiKomiSukuSuku

明石市教育委員会事務局学校教育課 mail: gakkyo@city.akashi.lg.jp

For The Future

No. 137

2021

12.1

コミコミスクスクが結ぶ縁

柏市小中学校 校長会全体研修会

11月25日(木)に千葉県柏市立小中学校校長会全体研修会に参加させていただきました。柏市の校長先生がコミュニティ・スクールの資料を探される中で明石のコミュニティ・スクール



だより「コミコミスクスク」を見つけられたのがきっかけで交流を進めてきました。今回はそうした縁で、「コミュニティ・スクール、明石市の実際と柏市の今をつなぐ」というテーマのもと研修会に本所指導主事と一緒に参加させていただきました。柏市においても2025年度をゴールにコミュニティ・スクールの設置を進められており、交流をする中で、設置したから感じる課題、

まだ一步を踏み出していない中で持つ疑問などいろいろなバックボーンを持たれているのが伝わってきました。42小学校・20中学校が9ブロックに分かれ、ブロックごとにオンラインでつながっての研修会で、昨年までなら柏市と明石市をオンラインで結んで交流するといったことは考えられなかったことです。しかし、こうしたオンラインでの交流が特別なことと感じなくなっていることが時代が一気にすすんでいるという現れだと改めて実感しました。

柏市立小中学校校長会全体研修会

「コミュニティ・スクール 明石市の実際と柏市の今をつなぐ」

コミュニティ・スクールって？
今、どうしてコミュニティ・スクールなんだろう？

本日の流れ

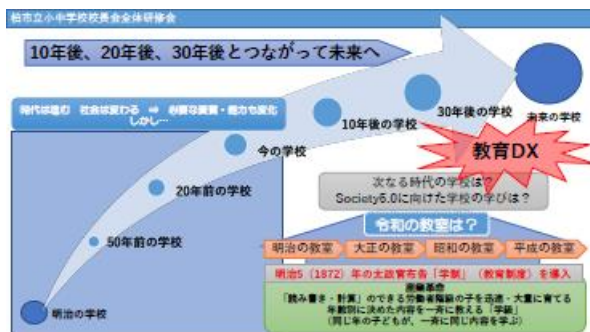
- 〇背景を考えてみると 北 本
- 〇松が丘の3年間で見えてきたこと 北 本
- 〇モデル校の取組から 一地域支援の立場からみたコミュニティ・スクール 北 本
- 〇コミュニティ・スクール推進の中で育つ資質・能力 本 所

本日のゴール
“少しでも、コミュニティ・スクールのイメージが”

大まかな流れとしては

- ①コミュニティ・スクールが推進される背景
- ②松が丘での取組をすすめる中で考えたこと
- ③モデル校の取組としてコミュニティ・スクールと学校が取組む研究との関わり
- ④コミュニティ・スクールを推進する中で育つ資質・能力として非認知能力に焦点を当てて

といった4つの視点で交流を図っていきました。



コミュニティ・スクールをすすめるにあたっての校長先生方のニーズは具体的な組織の作り方といった“How to”的な内容だったかなとも感じましたが、コミュニティ・スクールが広がる中で、“今どうしてコミュニティ・スクールなのか”を学校・保護者・地域の中で共有するために、対話を重ねていく必要があると感じてい

ます。これまで当たり前と思っていた学校での学びに対してトランスフォーメーションが求められているだけに、“社会総がかりで” 学びのイメージを変えていく必要があると考えています。

コミュニティ・スクール推進の中で育つ資質・能力

- (1) 非認知面(社会的情動スキル)の高まりへの期待
- (2) 真に「未来の担い手」を育む期待



非認知面の高まりへの期待



真に「未来の担い手」を育む期待

“社会総がかりで” 学びのイメージを変えるキーワードは、生涯にわたって学ぶ力を生み出し、支えていく非認知能力ではと考えます。地域の中で学ぶ価値は、課題を見つけ、課題解決に向け探究するだけでなく、人との出会い・ふれあいに浸れることだと考えています。それだけにコミュニティ・スクールと非認知能力の育ちを結び付けて紹介した本所指導主事のプレゼンは価値があったと考えています。

コミュニティ・スクールと子どもの資質・能力の育成というとなかなか結び付かないところかもしれません。しかし、コミュニティ・スクールの取組を進める中で一番感じることは人が育つ仕組みをつくろうとしているということです。人が育つ仕組みとは人との出会い・ふれあいにどっぷり浸れる環境であり、その環境は子どもだけでなく、大人も育てていく環境なのではと考えています。それは地域の中ですすむまちづくりとゴールを共有するものであると考えています。

そう考えると学校としてのアプローチは子どもの学びに焦点をあてたものになるのではと考えます。

今回こうした学びの機会をいただいた柏市の校長会の先生方に感謝です。交流にあたり資料をまとめる中でコミュニティ・スクールはいろいろなパターンがある、それだけにコミュニティ・スクールを進めるにあたってのビジョンを持つことが必要であり、そのためにはいろいろな立場の人との対話が必要だと改めて感じました。今後、明石市ではそうした様々な立場の人と学びについて対話する機会が広がっていけばと思っています。今回交流をおこなった柏市のある千葉県では小中高特支学校で教育ミニ集会を実施することになっているそうです。その持ち方は各校に任されているようですが、今回交流のきっかけをつくってくださった校長先生の学校では 12 月 3 日に今年新たに“みんなで語ろう「地域と共に創る学び」”として対話の会を計画され、右のポスターを校区に張って PR をおこなってられるようです。こうした対話が新たな学びを創っていくきっかけになるんだろうなとこのポスターを見せていただいて感じました。当日の様子を聞かせていただくのが楽しみです。



(文責：北本)